

はじめに

山形大学では、第2次山形大学男女共同参画基本計画(令和2年4月施行)において、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進し、「個々の性別、性的指向・性自認等にかかわらず、本学の学生及び教職員が自然にお互いを認め、受け入れることができる組織を目指す」ことを掲げており、様々な取組を行っています。

このガイドラインは、「多様な性」について、本学の姿勢、現段階での具体的対応、これから対応する必要がある事柄などを示したものです。

このようなガイドラインがあってもなお、多様な性が尊重されていないと感じる場面や、深く悩んでしまうような出来事が起こってしまうかもしれません。その際は、ガイドライン中に示してある相談窓口まで、相談してください。教職員一丸となってサポートしていきます。

令和3年2月
山形大学長

詳細は下記を参照

「山形大学における多様な性に関するガイドライン」



【お問合せ先】

山形大学ダイバーシティ推進室
〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12 
TEL:023-628-4937
E-mail:yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
<https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

■誰でも使用することが可能なトイレ

小白川キャンパス

本部事務棟(1F)
理学部1号館(1F)
理学部2,3号館(各1F)
理学部先端科学実験棟(4F)
インフォメーションセンター(1F)
人文学部1,3号館(各1F)
小白川図書館(1F)
保健管理センター(1F)
学生会館(1F)
瑞樹荘(1F)
体育館(1F)
基盤教育1～3号館(各1F)
地域教育文化学部音楽校舎(1F)

飯田キャンパス

附属病院(1F)
附属病院(2F)
附属病院(3F)
附属病院病棟(4～10F)
基礎校舎(1F)
学生実習講義棟(1～4F)
臨床研究棟(1F)
臨床研究棟(2～6F)
遺伝子実験センター(1F)
医学交流会館(1F)
医学部会館(1F)
がん研究センター(2F)

米沢キャンパス

百周年記念会館(1F)
工学部図書館(1F)
工学部2号館(1F)
工学部3号館東(1F)
工学部4号館(1F)
工学部5号館(1F)
工学部7号館東(1F)
工学部7号館西(1F)
工学部9号館(1F)
工学部10号館(1F)
工学部11号館(2F)
GM成形加工研究センター(1F)
インキュベーション施設棟(1F)
地域共同研究センター棟(1F)

鶴岡キャンパス

農学部1号館(1F)
農学部2号館(1F)
農学部3号館(1F)

附属学校

附属幼稚園遊戯室脇
附属小学校管理棟(1F)
附属小学校体育館
附属中学校昇降口(1F)
附属特別支援学校北(1F)
附属特別支援学校北(2F)

■多様な性に関する学内の相談窓口一覧

※電話受付は平日の9時～17時

所在地	名称	連絡先
小白川キャンパス	山形大学 ダイバーシティ推進室	023-628-4937 yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
	保健管理センター 小白川学生相談室	023-628-4154 yu-nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
	総務部労務課	023-628-4022 yu-soudan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
米沢キャンパス	工学部保健管理室 学生相談室	0238-26-3034 sodan@yz.yamagata-u.ac.jp
飯田キャンパス	医学部保健管理室	023-628-5981 yu-ihoken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
鶴岡キャンパス	農学部保健室	0235-28-2817 yu-nouhoken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

所在地	名称	連絡先
附属学校	附属幼稚園保健室	023-641-4446 cocoro.karada@fuyo.yamagata-u.ac.jp
	附属小学校保健室	023-641-4444 cocoro.karada@fusho.yamagata-u.ac.jp
	附属中学校保健室	023-641-4440 cocoro.karada@fuchu.yamagata-u.ac.jp
	附属特別支援学校 保健室	023-631-0918 cocoro.karada@med.id.yamagata-u.ac.jp

山形大学における 多様な性に関する ガイドライン

(抜粋)

I 「多様な性」を尊重する大学であるために

本ガイドラインにおける「多様な性」とは、性的指向や性自認等の様々なあり方を包摂するものです。

以下で、「多様な性」についての基本的な用語などについて説明します。

(1) 基本的な用語

● **性的指向 (Sexual Orientation)**: どのような性別に魅力を感じるかという方向性のこと(感じないという場合を含む)。

● **性自認 (Gender Identity)**: 自身の性別についての持続的な自己意識(アイデンティティ)のこと。

※これらの頭文字をとってSOGI (ソジ)と呼ぶことがあります。いわゆる性的マイノリティに限らず、あらゆる人が何らかのSOGIのあり方をしています。

● **性別表現 (gender expression)**: 「女性らしさ」や「男性らしさ」等の自身の性別に関わる表現のこと。服装、髪型、仕草、言葉使い等によります。ある人の性別表現のあり方は、性的指向や性自認のあり方と一対一で対応している訳ではありません。

● **レズビアン (Lesbian)**: 性自認が女性で、性的指向が女性に向く人。

● **ゲイ (Gay)**: 性自認が男性で、性的指向が男性に向く人。

● **バイセクシュアル (Bisexual)**: 異性にも同性にも性的に魅力を感じる可能性がある人。

● **トランスジェンダー (Transgender)**: 出生時に登録された性別とは異なる性を生きている(生きようとする)人。

※この4つの頭文字を並べて連帯を表現したのがLGBTという言葉です。性的マイノリティにはLGBT以外にも様々なあり方があります。最近ではLGBTQ、LGBT+などの表現も使われることがあります。

● **アセクシュアル (Asexual)**: 他者に性的な魅力を感じるということがない人。恋愛感情の有無は人によって様々です。

● **パンセクシュアル (Pansexual)**: あらゆる他者に対し、その性別等を顧慮することなく性的に魅力を感じる可能性がある人。

● **クィア (Queer)**: 規範的な性のあり方に対して、批判的であったり不服従であることを誇りをもって表す言葉。

● **クエスチョニング (Questioning)**: 性的指向や性自認を確定しないあり方。

● **異性愛 (heterosexual)**: 性的指向が異性に向く人。

● **シスジェンダー (cisgender)**: 出生時に登録された性別に違和感を感じることなく生きている人。(トランスジェンダーの対義語)

(2) カミングアウトとアウトティング

自身の性的指向や性自認について、自らの意思に基づき他者に伝えることをカミングアウトといいます。これに対して、ある人の性的指向や性自認について本人の同意なく第三者に暴露することをアウトティングといいます。

アウトティングは、たとえ善意からであったとしても、本人に大きな被害を及ぼすものです。絶対に許されない行為であることを銘記する必要があります。カミングアウトの内容が大学としての対応を必要とするものであったときは、誰とどの範囲で情報を共有するかについて本人の確認を得ながら、対応を進めていきます。

(3) ハラスメントの防止

アウトティングだけでなく、性的指向や性自認に関する偏見に基づく言動や侮蔑的言動は、ハラスメントに該当します。

II 本学の姿勢と現段階での具体的対応

以下では、多様な性に関して、本学の姿勢と現段階での具体的対応を項目ごとに記載します。

1 啓発・研修について

「多様な性」を尊重する大学をめざし、理解を促進し、ハラスメントを未然に防止するため、教職員や学生対象の研修や啓発を実施します。

2 氏名・性別情報について

(1) 通称名の使用

本人の申し出により、自認する性に基づく通称名を使用することができます。

(2) 性別情報

当事者の意図しない形で公表されることのないよう、慎重に取り扱います。

(3) 大学が発行する証明書等の性別記載

各証明書等で性別の記載が不必要なものについては記載しないことにしていきます。

(4) 大学に提出する諸書類における性別情報の記入

記入が本当に必要かどうかを精査していきます。

3 授業について

授業中の学生に対する呼称等については、性別に関わらず使用できる呼称(例えば、Yamadai-san、山大さん等)の使用を進め、性別でのグループ分けの必要性を確認します。

4 健康診断について

健康診断の受け方について希望がある場合は、個別の対応を行います。

5 就職活動、教育実習・介護等体験・インターンシップ等について

キャリアサポートセンター、学生相談室、総合対策室等、学内の関係機関が連携し、相談に対応します。

6 留学の対応について

国際交流室で、留学先の生活環境や学習支援体制などの相談に対応します。

7 施設について

性別等にかかわらず、多目的に利用できる「だれでもトイレ」があります。(裏表紙参照)

8 相談窓口について

学内に相談窓口を設置しています。(裏表紙参照)

*以下のサークルが有志の大学教職員と繋がりをもち活動しています。

・カラフルCAFÉ (ダイバーシティ推進室HPを参照)

<https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

III 附属学校における対応

文部科学省は、平成28年4月に、「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応などの実施について(教職員向け)」を公表し、教職員の理解を促進する方針を示しました。また、平成29年に「いじめ防止等のための基本的な方針」が改正され、性的指向・性自認等を理由とするいじめの防止が求められています。

附属学校においては、「山形大学における多様な性に関するガイドライン」及び「山形市職員・学校教職員のためのLGBT対応サポートハンドブック」(平成31年3月山形市作成)に基づいて、多様な性に関して対応します。

おわりに

上記で示したことは、現時点での状況です。今回のガイドラインは、学生と教職員が、ガイドラインの意義や位置づけなどを様々な議論で作成したのですが、多様な性を尊重する高等教育機関の在り方とはどのようなものかについて、これからも学生・教職員と対話しながら改訂の努力を継続します。

令和3年2月

山形大学男女共同参画推進委員会